

# 調査団報告書

調査No.19

## 調査内容

名古屋で、夜に大声で笑って笛を吹く、由来に天岩戸が出てくる祭祀があるって聞いたけど、そんなお祭ってあるの!?

## 調査手順

お祭の本をあれこれ見ていくと…あった!! 「<sup>えようど</sup>酔笑人(会影堂)神事」、別名「<sup>おかし</sup>於賀斯祭」「オホホ祭」だ! 熱田神宮の奇祭で、神面を袖に入れて、「オホ」と唱えて、笛を吹いて、大声で笑って、歩き回るんだって。あれ? 由来は草薙剣の盗難が発端?? 天岩戸じゃないの? 熱田神宮関係の本にも熱田神宮のホームページにも書いてない。調査再開だ! 1300年続いてきた祭だって書いてあったから、江戸時代の資料を見てみよう。……あ、あった!! 漢文で読みにくいけど於賀斯祭の由来として、『張州雑誌6』‘会影堂祭’にも『熱田神宮史料4』の「熱田大神宮御鎮座次第本紀」にも、天岩戸の文字を発見!! あとで、『名古屋謎解き散歩』に草薙剣説と天岩戸説が検証されている文章も見つけたよ!

## 調査結果

熱田神宮の「於賀斯祭」は、毎年5月4日夜7時から。昔は、この行列に出会うと病気になると恐れられていたそうだけど、‘今’は大丈夫と考えて、よし、今度見に行ってみよう!! それまで忘れないように、笑うときには「オホ」って笑うようにしよっ(オホ)

<今回の調査で使った主な資料>

- 『郷土の祭』、愛知県小中学校長会/編、1971年、pp.104-105
- 『なごやのまつり展』、中日新聞社/編、1972年、p.10
- 『熱田神宮』、熱田神宮宮庁/編、1972年、pp.92-93
- 『張州雑誌6』、内藤東甫/著、1976年、pp.647-651
- 『熱田神宮史料4』、熱田神宮宮庁/編、2002年、p.135
- 『名古屋謎解き散歩』、中根千絵/編著、2013年、pp.108-110
- 『朱鳥』、熱田神宮朱鳥会/編、1988年、pp.16-17

